

工務店組織を超えた住宅供給ネットワークが始動 ジャーブネット 初の家づくりプロジェクト ふたつのプロジェクトを併催

全国で地域特性に合った良質かつ適正な価格の住宅を供給する「ジャーブネット（旧アキュラネット）」（事務局：株式会社アキュラホーム、埼玉県さいたま市、主宰：宮沢俊哉）では、9 月 16 日から 12 月 31 日まで名称変更後初の「家づくりプロジェクト」として「安くて納得のいく家づくりフェア」と「地震強家プロジェクト」を併催します。

今回、二つの企画を同時運営するのは、より多くのユーザーニーズに応えようというジャーブネットの考え方を体現したことによります。よりコストパフォーマンスを求める層と、頻発する大きな地震により高い耐震意識を持つ層のリクエストに応えることができます。これはジャーブネットが旧アキュラネットのような**工務店限定組織を超えて**、住宅供給に関連する事業者と広く連携を果たし、新しい日本の住宅供給の理想を追求しようという姿勢を表したものです。

今回は新たにジャーブネットに参加する建材メーカーや建材卸業者が**企画段階から参加**していて、これまでになくコストパフォーマンスの高い限定商品を用意させていただいています。



自由設計のオール電化住宅が 25.8 万円（坪）から 「安くて納得のいく家づくりフェア」

いま大人気のオール電化設備を搭載した住宅「Sumire-SV（スミレ SV）」を坪単価 25.8 万円（税込み）から発売します。この商品は業界の最低価格帯を実現しながらも、住む人の個性を表現できる自由設計が可能であり、今回のプロジェクト用に用意した充実装備を搭載して先着 258 棟の限定販売となります。

「Sumire-SV（スミレ SV）」は「ジャーブネット」の「新しい連携」を活かした高度にコストパフォーマンスを追及した商品となっています。企画段階から建材メーカーや建材卸業者に加わってもらうことで実現しました。この商品は全国のジャーブネット会員工務店 102 社からの発売です。

<同時発売>

さらに、太陽光発電・オール電化で光熱費ゼロを実現した「HYUGAzero（ひゅうがゼロ）」（2）1500 万円（33 坪タイプ）と、日本で初めてとなる経済産業省「次世代省エネ住宅供給ビジネスモデル」対応の高気密・高断熱住宅「はるの Si」（3）1000 万円（33 坪タイプ）を、それぞれ先着 20 棟限定で同時販売します。

<納得感を向上させる充実の特別仕様>

- ・ キッチンの温度が上がらず快適で手入れも簡単な「IH クッキングヒーター」
- ・ 夜間電力利用なので安全・経済的。たっぷり 470 リットル貯湯できる「フルオート電気温水器」
- ・ 高い断熱効果の「断熱玄関ドア」と「ペアガラス窓」
- ・ 1 階居室窓には高い安心感が得られる「シャッター付きサッシ」

- ・ 十分な収納スペースを実現する「オリジナルクローゼット収納」(3箇所)
- ・ 人造大理石カウンターとオールスライド収納の「システムキッチン」
- ・ 吊戸棚は耐震ラッチ(地震で戸棚から物が飛び出さないフック)付き
- ・ ラクに入浴できる腰掛スペース付きのバリアフリー「大型ユニットバス」
- ・ 曇り止めヒータ付きの「大型シャンプードレッサー」

太陽光発電の搭載や2世帯住宅のためのトイレ、キッチンの増設などユーザーの多様な要望に対応できるお得なアップグレードオプションを豊富に取り揃えています。

<開発の背景>

団塊ジュニア世代を中心とする最近の住宅購入層の傾向として健康と環境を志向する LOHAS (ロハス) と呼ばれるライフスタイルが注目されています。LOHAS (ロハス) 層は、環境 (エコ) に配慮するだけでなく、自分や家族の健康や社会の将来に対して関心が強く、さらには自分の欲求 (エゴ) や気持ちよさを大切にする人たちだといわれています。

「Sumire-SV (スミレ SV)」は「環境配慮」にオール電化。「こだわり」には自由設計。加えて経済性 (低価格、低ランニングコスト) という複合メリットで「安くて納得のいく家づくり」を応援します。

震度7を3回被災しても住み続けられる新耐震住宅

「地震強家プロジェクト」坪27.3万円から

震度7クラスの地震を3回被災しても損傷がない高い耐震性能を持つ「新耐震仕様」の木造注文住宅「Sumire (すみれ)」を「地震強家プロジェクト」第2弾として坪単価27.3万円 (税込み) で発売します。さらに200棟限定で「安心特別仕様」を坪単価28.7万円 (税込み) から販売します。これらの商品は2005年3月に発足した「ジャープネット 住まいと地震を考える会」(2)の工務店メンバーから参加34社により全国で販売されます。

<第二弾開催の理由>

「地震強家プロジェクト」は、その第1弾を7月1日から9月11日まで開催し、住宅の“最適な地震対策”を新耐震仕様の木造注文住宅「Sumire (すみれ)」によってユーザーに提案しました。第一弾の受注集計はまだですが、最近の相次ぐ大型地震被害により、地震対策への関心が大きな高まりを見せていること プロジェクト参加工務店から開催延長の強い要望があったことなど、強力な社会的要請に応えて第二弾の開催となりました。ユーザー、工務店ともに地震対策の意識には地域差が見られますが、**その地域で活動し、かつスキルを持つ工務店が連携するジャープネットの強みを活かした企画**となっています。

この「新耐震仕様」は、「住まいと地震を考える会」が阪神大震災などの地震波を再現した実大実験 (3) や被災地への実地調査をもとにおこなった研究の成果として完成したものです。新しい耐震強化基準「**新世代ハウスプラス**」(4)を設け、さらに家具の転倒や食器・ガラスの飛散を防ぐ様々な仕様や施工、住設機器の選び方、家具の配置や固定、収納の方法、地震時の逃げ道や持出用品の保管など、トータルな形で地震への備えを提案するものです。

こうした住宅はいまだ全国で普及しているとは言えない状態なので、ジャープネットがこの商品を販売することで、全国のユーザーは高い耐震性能を持ち被災後も住み続けられる住宅を、地域密着の工務店から手頃な価格で供給を受けられるようになるわけで、その意味は大きいと思われます。

<住宅保証制度で最も大きい割引が適用>

この「新耐震仕様・新世代ハウスプラス」は、(財)住宅保証機構の住宅保証料で最も割引率の高い「一般団体割引」(5)が適用されます。これは住宅の施工品質管理に関わる基準を満たし、事故率が最も少ない良質な住宅を供給する団体に適用される料率で、品質管理体制の高さを示す公的な認定でもありジャープネットを含め二団体のみが認定を受けています。

< 限定特別仕様 >

地震後も安心して住み続けられるよう配慮した 200 棟限定の安心特別仕様について

耐震ラッチ・IH付システムキッチン

実大実験での観察によると、地震時に食器棚から食器が飛び出し、割れた破片が人を襲う。これを防止するため、耐震ラッチ（ロック機能）付のシステムキッチンを装備。さらに、ライフラインの中では、復旧が最も早い電力を利用するIHクッキングヒータを搭載。

タンク一体型便器

便器とタンクのつなぎの部分が折れてタンクが脱落し使用不能になることを防止するため、便器とタンクの一体型で壁にしっかり固定できるタイプの便器を採用。

非常用足元灯 6 箇所

停電時に避難の経路を示し、危険物が散乱した床を照らして怪我から守ります。

ウォークインクロゼット

夜の地震では、特に寝室に置かれたタンスの転倒により死傷するケースが多く、寝室にウォークインクロゼットを設けて家具を減らすことが有効。内部にオリジナル収納棚を取り付け収納力をアップし、非常時にもとり出しやすくしている。

雨水貯水タンク

緊急時に水の供給が可能になる。特にトイレで流す水や、手や食器を洗ったり、掃除用の水などの生活水に救助が開始されるまで応急用として使用可能。

耐震ガラス窓

間にフィルムを挟んだ合わせガラスで、地震時に床の上で凶器になるガラスの飛散を防止する。

備品収納

玄関脇に設け、避難時に非常食料や非難用品などをすぐ取り出せるように入れておく収納スペース。

< 免震住宅も取り扱い >

なお、「ジャープネット 住まいと地震を考える会」では、より高いレベルの地震対策として免震装置を搭載した免震住宅も販売いたします。

< 本件についてのお客様からのお問い合わせ先 >

ジャープネット事務局 TEL：048-631-1901

< 本件についての報道関係からのお問い合わせ先 >

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・杉田（そまだ）

Email：horikosi@aqura.co.jp TEL：048-631-3020（ダイヤルイン） FAX：048-631-2334

本リリースは「国土交通記者会」、「国土交通省専門紙記者会」にて配布しています。

写真データは下記 URL よりダウンロードすることができます。

URL：<http://www.aqura.co.jp/news.shtml>

家づくりプロジェクト専用ホームページ（9月16日オープン予定）

URL：<http://www.jahbnet.jp/nattoku> URL：<http://www.jahbnet.jp/jishinpi>

（ 1 ）ジャープネット（JAHbnet）

弊社は 1978 年の創業以来、高品質で低価格な住宅の供給に取り組み、94 年に独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を全国工務店に供給開始し、現在 2350 社以上の工務店に導入されています。98 年に（財）日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」を設立。全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとしてすでに約 7 年にわたり全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供してきました。

アキュラネットには 600 社あまりが加盟し、2004 年度の木造住宅累計販売棟数は 8213 棟、フランチャイズチェーン・ボランタリーチェーンの販売棟数ランキングで 1 位 となっています。こうして技術力のある地域工務店・ビルダーが集まることでスケールメリットを創出し、加えて第三者機関による工事検査や住宅保証制度による保険、建設前の地盤調査などを実施することで、良質・低価格・安心の制度を確立しました。

そして2005年9月16日よりお客様の多様なニーズに応えるために、名称を「JAHBnet(ジャープネット)」と変更し、**業種の壁を超えた新しい連携を取り入れ**、より理想に近い住宅供給を実現する次世代型住宅供給ネットワークとして生まれ変わりました。

ジャープネットにより供給される「新世代ハウスプラス」は(財)住宅保証機構の住宅保証料で最も割引率の高い「一般団体割引」(5)が適用されます。これは住宅の施工品質管理に関わる基準を満たし、事故率が最も少ない良質な住宅を供給する団体(ジャープネットの事故率は0.1%未満)に適用される料率で、組織としての品質管理体制の高さを示しており、ジャープネットを含め二団体のみが認定を受けています。 住宅産業研究所

(2)「住まいと地震を考える会」

ジャープネット会員で組織され、実大実験や地震の現地調査、データなどをもとに実践的な研究を続けています。地震より想定される生活に関する様々な問題、課題について多方面から検討をおこない、単に強いだけでなく「生活を守る」視点で住宅を研究しています。(現在87社が参加しています)

(3)実大実験

今年の3月に、今回発売する耐震基準「新世代ハウスプラス」による木造住宅を三次元振動台に設置して、兵庫県南部地震波1波と新潟県中越地震で記録された震度7クラスの地震波2波の合計3波を再現し、同じ建物を一日のうちに3回振動させるという過酷な条件を設定して実験をおこないました。3回の大規模地震に被災したにもかかわらず、実験前の状態に比較して接合部の緩み、金物の変形、部材の破損などが全くなく高い耐震性能が確認できました。本実験では、単に建物の耐震性能の実証を行なうだけでなく、「居住者の生命や生活を守り、被災後も安心して住み続けられる」ことを目的に、住宅内に設置した家具調度品・食器・家電製品・建具・住宅設備などの挙動を研究し、さらに屋内の安全確保について色々な耐震アイテムの効果も検証しました。地域工務店の組織でこの種の実大実験が行われたことは非常に珍しいことであり、地域工務店が供給する住宅に実験で実証された性能が与えられるということに大きな意義があったと言われています。

(4)新世代ハウスプラス

「新世代ハウス」に、地震後の被害減少までを含めて検討した「住まいと地震を考える会」独自の耐震基準を策定して「新世代ハウスプラス」を設定しました。具体的には、

(1)構造強化を図る設計基準

- 1階の柱が2階の柱の真下にある直下率の基準の制定
- N値計算(引張耐力計算)による建築構造金物の配置基準の制定
- 建物の重心と剛心のズレを示す「偏心率」の基準を変更
- 住宅性能表示制度の「耐震等級」「耐風等級」を最高等級に設定

(2)施工の基準に新施工仕様を設定

など

(5)「一般団体割引」

(財)住宅保証機構では、品質の高い住宅を供給し保証事故が少ない団体に対し、住宅性能保証制度の住宅登録料について最も割引率の大きい「一般団体割引」を適用しています。この適用を受ける業者は、以下の条件が必要となります。

- 1.過去5年間に年間1,000戸以上の性能保証住宅を供給し、その損害率が10%未満である優良団体。(アキュラネットは2005年6月現在での事故率は0.1%未満です)
- 2.さらに耐久性向上に関する品質管理体制について、方法、手順、基準などが明確に示されていること
「アキュラ住まいと地震を考える会」で新耐震仕様基準「新世代ハウスプラス」によって建築する住宅は、この条件を満たしており、住宅に対する事故率が最も少なく、施工品質管理に関わる基準を満たした良質な住宅を供給する、品質管理体制の高さを公式に認められたことを意味します。
この適用が受けられる団体は、アキュラネットを含めて2団体のみです。

アキュラホーム

「日本の住まいを安くする」事をミッションとした木造住宅供給に取り組んでいるビルダー。住宅事業の中で培った経験や技術力を活かして住宅建築合理化システム「アキュラシステム」を開発し、これを駆使することでお客様本位の高品質でありながら坪 30 万円以下で建築可能な注文住宅を提供し続け、業界をリードしている。また、全国の地域ビルダー・工務店約 606 社によるネットワーク「JAHBnet(ジャープネット)」（旧アキュラネット）を主宰し、そのスケールメリットを活用して、高品質ながら低価格の住宅の開発と全国展開、さらに保証などの安心の制度を導入している。特に、2001 年に坪 21 万円からというローコスト住宅「M21」で話題になって以来、高気密高断熱（次世代省エネ）住宅、太陽光発電搭載住宅、オール電化住宅、などを相次いで坪 30 万円以下で発売し話題を集めた。これらの活動は国土交通白書に紹介されたり、経産省のプロジェクト「次世代省エネ住宅普及促進研究会」に招聘されて普及価格帯の次世代省エネ住宅の実現に貢献するなど、官公庁からも注目されている。最近では東京都による「住宅価格 3 割引き下げ実証実験」の事業予定者に圧倒的な低価格提案（他提案が 2/3 に引下げるなか 1/2 の価格を提案）をもって選定されている。

過去ニュースリリース（アキュラネットがジャープネットへ名称変更） 9 月 9 日発表

株式会社アキュラホームは、当社が主宰する工務店・ビルダーのネットワーク「アキュラネット」の名称を「JAHBnet(ジャープネット)」に変更します。「JAHBnet(ジャープネット)」は、これまで積み重ねてきた「アキュラネット」の実績をベースに、より理想に近い住宅供給を実現するため、組織構成や活動範囲を拡大し、業種の壁を越えた新しい連携などを取りいれて、進化した次世代の住宅供給ネットワークを目指し 9 月 16 日より新しくスタートいたします。

<会の目的>

会の目的は、日本全国で地域特性に合わせた良質で適正な価格の住宅を供給することです。それ自体は従来同様ですが、より徹底して推進するために業種の壁を越えた「新連携」をキーワードに新しいチャレンジを行います。また、従来あまり強調されてこなかった会の名称も今回を機に認知度向上を図ることとし、住宅性能保証制度での圧倒的な事故率の低さなどを訴えつつユーザーに安心感を提供してまいります。

住宅保証制度で特別割引団体 に認定（アキュラネットを含め 2 団体だけ）

<「新連携」がコンセプト>

「強みを持ち寄る」というのが「新連携」の基本的なコンセプトです。よって組み合わせと可能性は無限にあります。その方向性として多様なニーズに応える商品開発や、新技術で木造軸組工法を進化させた「新木造」の追求。また、様々な分野と新しい発想による連携を進めることで、ユーザーを業界内でたらいまわしにしない「ワンストップ型の総合的家づくり支援」を実現します。

たとえば不動産仲介会社や金融機関と連携し土地探しからの注文住宅建設や、ファイナンスに関するお手伝いという現実的なものから、構想としては自治体との連携による街づくりなど旧来の地域工務店、ビルダー枠組みでは実現しえなかった領域までにも挑戦できるよう活動してまいります。

<新名称について>

新名称に使われている「JAHBnet」の「JAHB」は、「Japan Area Home Builders」の略で、アメリカの全米ホームビルダー協会「NAHB(National Association of Home Builders)」の活動をその手本としています。NAHB の米国内での地位は大変高いもので、建築はもちろん、サービス、土地、ファイナンスまでトータルに提案できる工務店・ビルダー組織として活動しています。

<アキュラホーム会社概要>

社 名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-10-16 シーノ大宮ノースウィング 15 階
電 話	048-631-2333（代）
創 業	1978（昭和 53）年 9 月
資本金	9,314 万円
従業員数	307 名(05 年 4 月 1 日現在)
事 業	建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	107 億円(2005 年 2 月期)
ホームページ	http://www.aqura.co.jp